

お取引先さま各位

## カカオ・チョコレート週刊ニュース 126号

2015/1/19 発行  
株式会社 立花商店  
西岡 あずさ

お世話になります。カカオ・チョコレート関連のニュースを前週の出来毎の中から注目ニュースを5本前後ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しくお願い致します。

### 1、市況の動き

① 最高：3月 LDN 市場£2055(1/12)/3月 NY 市場\$2994 (1/12) 先週比 **LDN +£9/NY +\$8**  
② 最低：3月 LDN 市場£2031(1/16) 3月 NY 市場\$2942 (1/16) 先週比 **LDN +£31/NY +\$40**  
週内価格差額 (①-②)：LDN 市場£24 (傾向↑) / NY 市場\$52 (傾向↑)  
週内建玉推移：LDN 市場 242,751 枚(1/8 終了時)⇒247,517 枚 (1/15 終了時) **+4,766 枚**  
NY 市場 198,684 枚(1/8 終了時) ⇒211,459 枚 (1/15 終了時) **+12,775 枚**

	2015/1/12(月)		2015/1/13(火)		2015/1/14(水)		2015/1/15(木)		2015/1/16(金)	
	LDN	NY	LDN	NY	LDN	NY	LDN	NY	LDN	NY
15-Mar	<b>2055</b>	<b>2994</b>	2051	2991	2049	2992	2044	2977	<b>2031</b>	<b>2942</b>
15-May	2020	2973	2017	2973	2019	2978	2015	2965	2002	2933
15-Jul	2005	2960	2001	2958	2002	2966	2001	2954	1989	2924

### 2、コートジ：カカオ豆、1月11日までに893,000トンが港に到着 (1/12)

輸出業者の見込みによると、世界最大のカカオ豆生産国であるコートジでは、シーズン開始の10月1日から1月11日までの間で893,000トン近くのカカオ豆が港に到着したとみられる。この数値は昨シーズン同時期の1,002,000トンから減少している。

彼らによると1月5日から11日までの間に、73,000トンのカカオ豆が西アフリカのアビジャン港とサンペドロ港に輸送されたが、こちらは昨シーズン同時期の48,000トンから増加している。

### 3、マレーシア：第四四半期のカカオ磨砕量、需要鈍化により21%下落 (1/12)

マレーシア・ココア・ボードによると、需要鈍化と磨砕量の切り下げを強いるような今後の暗い見通しにより、第四四半期のカカオ磨砕量は全体の5分の1である55,590トンに落ち込んだ。彼らによると、チョコレートのキー原料の需要を反映するカカオ磨砕量が、2013年の285,608トンから2014年は14.4%

下落の 244,423 トンとなった。

「現実のところ、磨砕業は過去 1 年間利益をあげることができていない」とシンガポールに拠点を置くトレーダー。「市場への供給削減のために業者が磨砕量を切り下げるのも時間の問題である」と語る。

磨砕の際、カカオ豆からおおよそ同量のカカオバターとカカオパウダーが作り出される。トレーダーによると、チョコレートに口どけを与える目的でのカカオバターの需要は安定していて、世界のチョコレート消費量は今年 1-2%増加しているという。

昨今のアジアにおける磨砕業者増加の一方、ケーキやビスケット、ドリンクに用いられるココアパウダーを供給するような磨砕は、2 四半期以上にわたり抑制されてきている。しかし依然供給過剰気味である。

市場参加者は、2015 年の磨砕量の制御による磨砕業の冷え込み、言い換えればトンあたりのコストの上昇を予測している。「多くの顧客は来年がビジネスにとって素晴らしい年になるとは思っていないだろう。皆が磨砕業界を注視している」とシンガポールのトレーダー。第一四半期の磨砕量は現状維持、もしくはさらなる減少が予想されている。「早くからアジアにおける成長は好ましいものと信じられてきたが、キャパシティはその成長と比較し、過剰に増えている状態である」という。マレーシアはアジア最大のカカオ豆磨砕国である。

金曜日のニューヨーク市場の 3 月きりの価格は、トンあたり US\$2,968(RM10,595)であった。9 月に発生した US\$3,399 という 3 年ぶりの高値のあと、2014 年には 7.4%の利益を記録した。

アジアカカオ協会は 1 月 23 日に地区のカカオ豆磨砕量データを公表予定にしている。

#### **4、ナイジェリア：クロスリバー州におけるカカオ豆価格上昇 (1/14)**

ナイジェリアの南東部に位置し、第二のカカオ豆生産量を誇るクロスリバー州において、国際市場の上昇の影響を受け 1 月で 2 度目の価格上昇が起こった、と業界の関連筋やトレーダーらが発表した。

ナイジェリアカカオ協会のスポークスマンである Godwin Ukwu 氏によると、グレードカカオ（政府の製造検査官により輸出に適していると認められたカカオ豆のこと）の価格が前週の NGN510,000-NGN515,000 から、トンあたり NGN515,000-NGN520,000(\$2,861-\$2,889)に現在上昇しているという。彼は、「クロスリバー州の価格はカカオ豆の国際市場価格の上昇につられ、ナイジェリア・ナイラの弱まりも価格上昇の一要因となっている」と語る。

2014 年 11 月、ナイジェリア中央銀行は US ドルに対し 168 ナイラに価値を減じたが、現在当銀行取引外では 180 ナイラ以上で取引されている。

クロスリバー州の州都 Calabar のトレーダーによると、通常雨季に大量の降雨が発生するこの地域では乾季を凌ぐことが出来たため、カカオ豆の品質が良い。農家は適切な日照を得られており、カカオ豆の売買はピークにあるという。

この州でのメインクロップは現在収穫中。2 月には終了する見込みで、その後注意深く 2015 年ミッドクロップにシフトしていく予定となっている。

#### **5、ヨーロッパ：工場移転により製造量が 9 年ぶりの最低値(1/15)**

ヨーロッパにおけるチョコレート需要が、第四四半期に地域経済に苦しんでいた 2005 年以降最低となり、製造機能がカカオ豆生産国へ移転している。

クッキーやプラリネに用いる原料を製造するために行われてきたカカオ豆の磨砕量は、12月31日までの3ヶ月で昨年対7.4%下落した、とヨーロッパココア協会が報じた。最大消費地域での磨砕も前年の348,963トンから323,061トンとなっている。

米国経済の立ち直りと原油価格の下落もあったが、ヨーロッパと中国の成長の鈍化により世界銀行は今週、2015年の国際成長予報を引き下げた。経済的苦悩は需要を押し下げ、カカオ豆磨砕量の減少は、西アフリカやインドネシアなどの主要生産国への製造拠点の移転に影響した。

「小売販売はしばらく乏しい上、磨砕マージンは非常に抑圧されている」と、ロンドンのRabobank InternationalのアナリストTracey Allen氏。「我々は2015年に入っても緩い需要が続くと予測している」と続けた。

カカオ豆の磨砕はチョコレートバーの20%を占めるカカオバターと、アイスクリームやシリアル、クッキーに用いられるココアパウダーを作り出す。いわゆるコンボレシオは磨砕業者の利益を指標となるが、ヨーロッパの第四四半期では2013年の同時期から10%下落している、とペンシルバニア州ベツレヘムのCommodities Risk Analysisの一部隊であるKnowledgeChartsは報告した。

カカオ磨砕業者であるEuromar Commodities社は10月、クリスマス後の3週間でベルリン郊外にあるFehrbellin工場を閉鎖すると発表した。

3月きりのカカオ先物価格は、本日の欧州先物市場において1.1%低下しトンあたり£2,026(\$3,081)で、取引開始前のロンドン時間PM2:16の£2,046からこの2週間で最も大きく下落した。ニューヨークでは1.2%下落し、\$2,955であった。

ロンドン先物市場では、3月きりの価格は5月きりの価格よりトンあたり£28高くなっており、市場構造は逆鞘となっている。この逆鞘市場は在庫の運搬を不経済にするため、工場への磨砕量の抑制を提案している。

国際ココア組合(ICO)によると、世界最大生産国であるコートジワールは今年、オランダを超えて世界最大磨砕国になろうとしている。西アフリカ諸国の工場における磨砕量は、ICOの予測によると、2010-2011年時のオランダとの180,000トン差と比較し、2013-2014年では僅か10,000トン差になるという。世界第3位の生産国であるインドネシアにおける2013-2014年の磨砕は、2010-2011年から70%も増加した。ICOのデータでは、Olam社やCargill社も新たな工場の建設を始めている。

Lindt&Spruengli社のCEOであるErnst Tanner氏は、チョコレート消費量は、アジアの需要が未だ国際的な観測に影響をもたらすには小さなものであるように、期待されるようなスピードでは上昇しない。彼は、カカオ価格が今年の下半期までに下落するとみている。

Bloombergの7名のアナリストによる調査によると、北アメリカでの製造は第四四半期で1.9%上昇した。国際製菓業者組合は当日、磨砕量を発表することになっていた。

《お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先》

株式会社 立花商店 東京支店 生田

TEL03-5785-3545    w-ikuta@tachibana-grp.co.jp